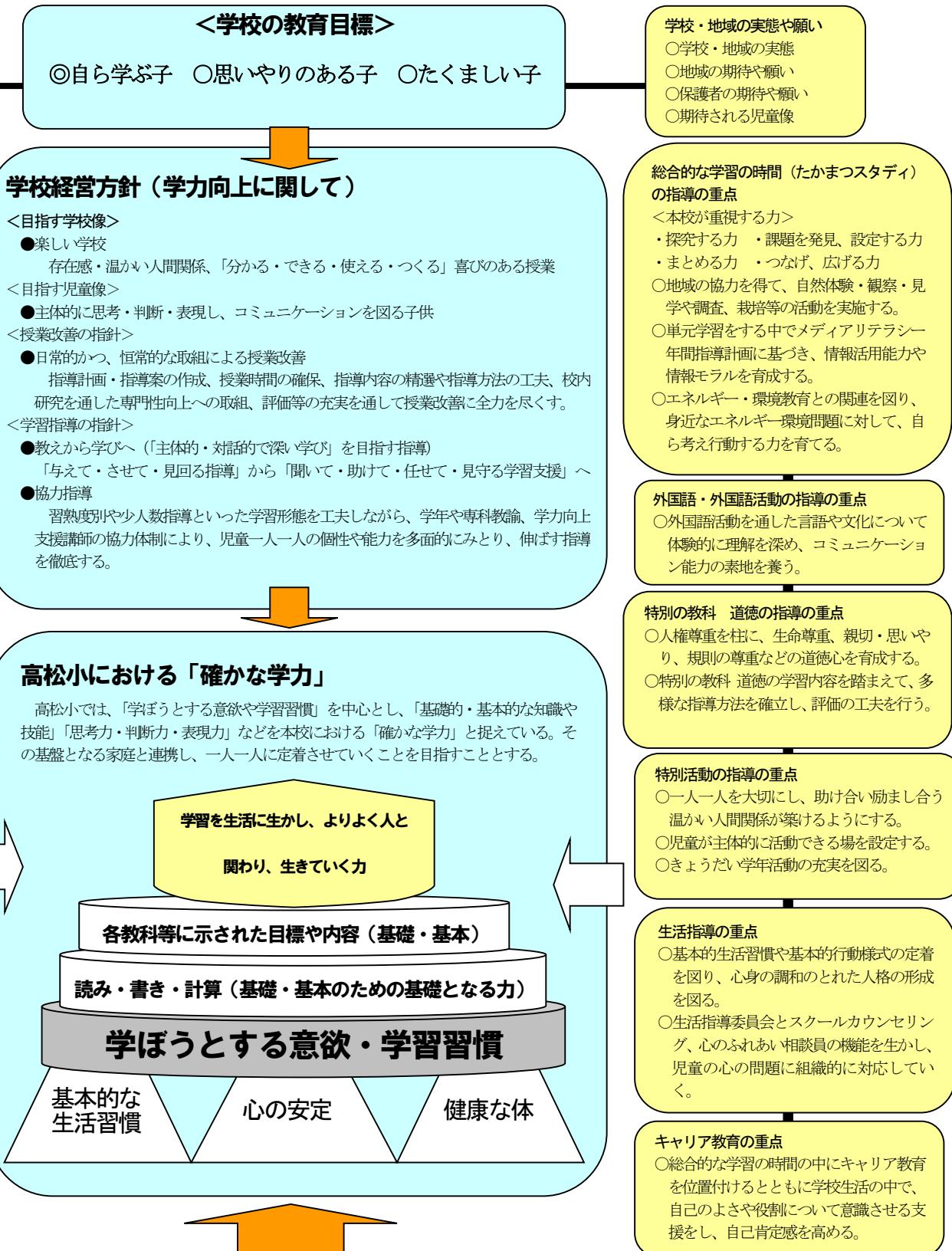
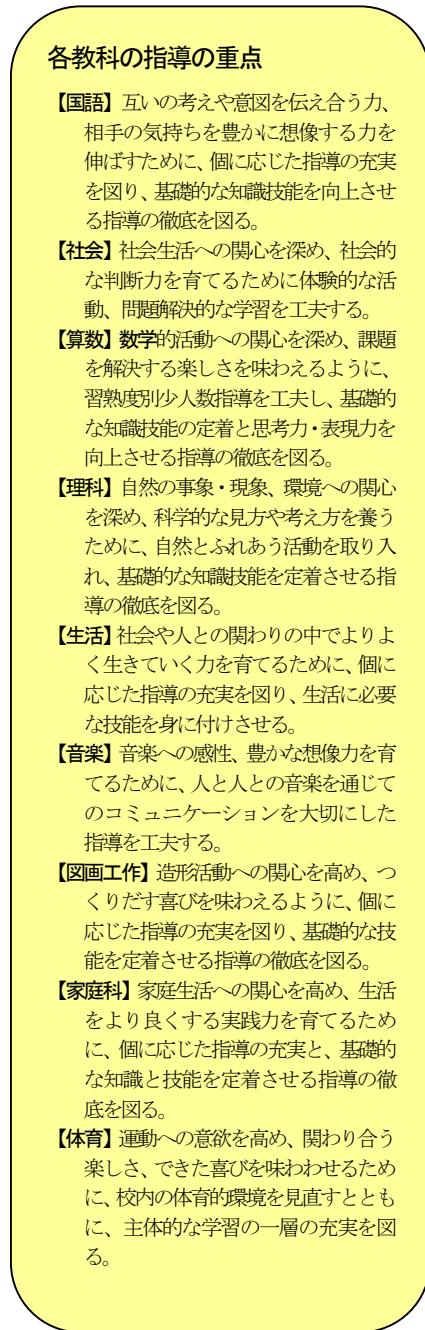


# 練馬区立高松小学校授業改善プラン全体計画(令和3年度)



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭・地域・社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノート指導の徹底、板書の工夫、家庭学習の推進により、基礎基本を定着させる。</li> <li>○ねらいを明確にした授業を実践するとともに、子供の興味関心を生かし、教科の特性に応じた問題解決的な学習を充実させる。</li> <li>○言語環境の整備、話しいや書く活動を行い、言語活動の充実を図る。</li> <li>○習熟度別指導を行い、個に応じた指導を充実させる。</li> <li>○大型モニターや実物投影機、電子黒板、タブレットといったICT機器を活用し視覚的で個に応じた分かりやすい指導を工夫する。</li> <li>○必要に応じた感染症対策を講じながら、児童が関わり合って学びを深めるような協働学習の場を多く設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導の充実を図るために、行事の精選や教育課程の工夫を行い、必要な授業時数を確保する。</li> <li>○新体力テストを教育課程に位置付け実施し、心と体の調和のとれた子供を育成する。</li> <li>○各学期1回（4週間×3回）の読書時間、朝読書を実施する。</li> <li>○食育を通して自らの健康管理を学び、心の安定と健康な体の維持を図る。</li> <li>○オリンピック・パラリンピック教育を、学習計画に基づき推進する。</li> <li>○新学習指導要領を念頭において教育課程の編成を行い、確實に実施できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「共に学び、自らを高めていく子供の育成」をテーマに校内研究を行い、国語科の説明的文章の学習を切り口に、新しい学習指導要領で求められる力を育む工夫や、カリキュラムマネジメントの視点を取り入れた授業研究を行う。</li> <li>○専科教員を含めた全教員で分科会を組織し、各学年で研究授業を実施し、全教員で研究に携わる。</li> <li>○校内研究の場を生かし、コミュニケーション能力を高めるための指導法の工夫を行い、指導の充実を図る。</li> <li>○特別支援教育の充実のため、特別支援教室（ひかりルーム）の教員と連携を深め情報共有を進めるとともに、校内支援委員会を年6回開催して一層の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全教科の指導計画と評価規準、評価指標を作成し、各学年、各教科の目標に準拠した評価を計画的に実施する。</li> <li>○学習の過程で個に応じた評価を行うとともに、基礎・基本の確実な定着を目指し、指導の改善を行う。</li> <li>○子供のよさを認め伸ばし、学習意欲を高めるために、肯定的な評価や言葉掛けを行う。</li> <li>○校内研究の中で児童の実態調査を行い、授業での変容を見取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症の流行状況を踏まえた学校公開と道徳授業地区公開講座を行う。</li> <li>○保護者会と、年2回の個人面談を実施し、家庭と連携を図りながら学習習慣を確立する。</li> <li>○地域の方々の協力で栽培活動を行うなど地域との連携を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校区別協議会における協議内容の活用を図り、小中学校における指導の連携を目指す。</li> <li>○練馬中学校グループの実践校として小中一貫教育の研究に積極的に参加し、研究成果の活用を図る。</li> <li>○練馬中学校グループの課題改善カリキュラムの作成・見直しを図り連携を深める。</li> </ul>
授業改善の検証方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校公開、行事のアンケートや学校関係者評価を授業改善に活用する。</li> <li>○校内研究を生かして児童の実態調査を行い、授業改善の指針とする。</li> </ul>				